

「平和希求」文言 市民団体が要望

錦町資料館設置条例に

8月に開館した錦町立人吉海軍航空基地資料館について、戦争遺跡の調査・保存活動を行う二つの市民団体が、運営方法や展示内容の改善などを町に要望した。

2団体は「人吉球磨の戦

争遺跡を伝えるネットワーク」(山下完二代表)と「くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク」(高谷和生代表)。森本完一町長に7日、要望書を手渡した。

要望書では、①資料館の設置条例に「平和希求」の文言を挿入②有識者や町民らでつくる運営協議会(仮称)の設置③同基地跡の範囲の根拠となるデータの公開——などを求めている。

町によると、要望書を受け取った森本町長は、設置条例に「平和希求」の文言を入れる考えがないことを伝えた。データ公開については、後日回答すると返答したという。

山下代表は「平和を学ぶための運営や展示内容であるかをチェックする必要がある。何度でも要望していきたい」と話している。